

特別支援教育課

1 目的 特別支援学校高等部生徒の「働きたい」という意欲を育て、「働く力」を高めるための就労支援を充実させることによって、低迷する就職希望率及び就職率を引き上げ、卒業後の社会自立・社会参加を目指す。

2 現状と課題

<現状と課題> 低迷する就職希望率・就職率 (出典 H28 厚労省 H26 文科省資料)

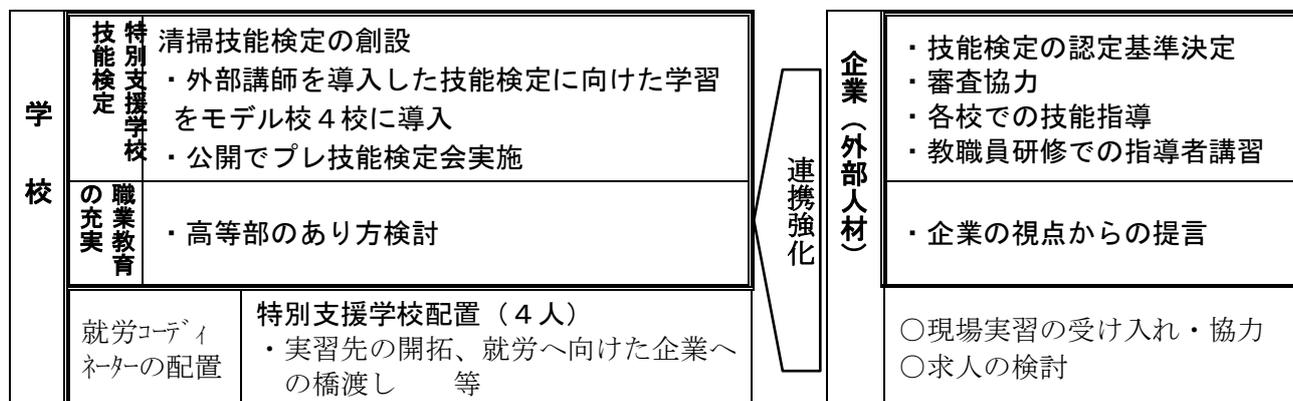
	長野県	全国
就職希望率 (H27)	23.4% (全国 45 位)	34.6%
就職率 (H26)	20.2% (全国 42 位)	28.8%
〃 (H27)	19.8% (全国 43 位)	29.4%

<課題改善の視点>

- 生徒の実態が多様化している中、就職を希望する生徒に対応した学習活動の改善
- 校内外の学習における企業との連携強化
- 生徒が日頃の学習の成果を実感する機会の創造

3 これまでの取組 (H29)

特別支援学校技能検定を創設しモデル校において実施→企業と連携による教育活動の充実に着手



産業現場における実習も増加

区分	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度 (見込み)
事業所数 (実数)	1, 153	1, 224	1, 131	1, 335

4 事業内容 (平成 30 年度以降の新たな取組)

技能検定を全県に拡大して本格実施するとともに、企業との連携、実習の充実に総合的に推進

